



まつやま
日本で一番
笑顔があふれるま

これら海辺の町の沖合に浮かぶのが忽那諸島。有人島の居島、釣島、島、月島、野忽那島、中島、怒和島、津和地島、二神島、安居島は、豊かな自然が魅力で、トライアスロン大会などのスポーツイベントも開催されています。

一方、松山の南部に位置し、四国遍路の松山側入口にあたる久谷地区は、淨瑠璃寺や八坂寺、接待所として再生まれた旧遍路宿の「坂本屋」など、お遍路さんを優しく迎えるおもてなし文化が今も息づいています。

6.トライアスロン中島大会

昭和61年から開催されている歴史あるスポーツイベント。島民らのおもてなしや応援も好評で、リピート参加する鉄人も多数。

■問／089-997-1840(トライアスロン中島大会実行委員会)

5. 高繩山・腰折山

標高986メートルの高縄山と標高214メートルの腰折山は、ともに自然の宝庫。腰折山の登山道にはエヒメアヤメやイヨスミレが自生しており、両山とともに瀬戸内海を一望できる眺望も自慢。

4. 三津浜・三津の渡口

市道高浜2号線の一部として、三津港山の間、約80メートルを結ぶ市営渡船。
転車の乗船も可。

■問／089-951-2149(松山山港務所)
089-948-6318(松山市空港山港湾事務所)

■営／7:00～19:00、無休(荒天などにより運休する場合あり)

勇猛な水軍の歴史を持つ島と

4回、三津の朝市（旬・鮮・味まつり）を開催し、市民が気軽に買い物ができる催しとして親しまれています。三津浜にはレトロな建物や倉庫も多く、三津浜内港を結ぶ「三津の渡し」も、室町時代から今に受け継がれています。

多くの人を惹きつける、ゆかしい風情に満ちあふれた松山市。それを色濃く感じられる地域があります。松山市の海の玄関口として栄えた歴史を持つ三津浜、古くは「風早」と呼ばれた北条、そして瀬戸内海に浮かぶ忽那諸島。さらには久谷地区をはじめ市内に広がる遍路道は、懐かしさと優しさが溢れています。三津浜は、松山の名物・名所づくりの民謡「伊予節」に唄い込まれている「三津の朝市」の開催場所。目の前の海で水揚げされた魚介類を取引する朝市は、室町時代に始まつたとされています。現在は水産市場で年

Matsuyama features destinations that preserve the flavor and feel of days of old, from the city's districts of Hōjō and Iwai, with its history of flourishing as the city's gateway to the sea, to the outlying islands floating in the Seto Inland Sea. The city is also home to temples serving as fudasho stops along the Shikoku Henro pilgrimage.



四国遍路・松山八ヶ寺とは

四国遍路は弘法大師空海が開いた巡礼の道。四国全域に点在する空海ゆかりの88の札所を巡ることで、それぞれのご利益を願う祈りの道でもある。松山市にはお遍路さんの始祖と呼ばれる衛門三郎ゆかりの石手寺など四国の自治体で最多となる八ヶ寺が集中。市内の札所を巡って、お遍路を体験しませんか。

